

年 組 名前：

風林火山

「麓から登る富士山もいいですよ」。10年以上前、知人の言葉に誘われて、吉田口登山道の馬返しから5合目にかけてを歩いた▼自然環境や歴史文化への理解を深めつつ、散策を楽しむエコツアーがブームと言われていたころ。樹木が育たない「森林限界」を主に歩く5合目からの登山とは異なり、美しい緑や富士山信仰の遺構を見ながらの登山は、霊峰が持つ多様な表情を知る発見に満ちていた▼そんな記憶が呼び起こされたのは、意外なところで「森林限界」という言葉を耳にしたのがきっかけだ。先日、将棋でタイトルを奪取し、五冠となった藤井聡太王将の記者会見。将棋を富士山に例えて今、何合目を登っているイメージかとの問いに、彼は「森林限界の手前」というか、まだまだ上の方には行っていない」と答えた▼将棋界最年少の19歳6カ月で五冠となる快挙を成し遂げながら、質問に淡々と答える大人ぶりに改めて驚かされた。そして「将棋は本当に奥が深いゲーム。どこが頂上か全く見えない」との言葉は、求道者のような姿勢を感じさせた▼人生やビジネスなどで、現在地を表現するために例えられる富士登山。彼が今、森林限界の手前を歩いているなら、きっと道中は発見に満ちていて、確かな足取りで淡々と前へと進んでいるのだろう▼そう考えると、頂を見据えて荒涼たる険しい岩場を歩くのはどんな局面なのか。そんな彼も見てみたくなる。(有)

(2022年2月15日付 山梨日日新聞 1面)

問1

「森林限界」とはどういう意味でしょう。

.....

問2

藤井聡太棋士は、五冠達成記者会見のどのような質問に対し「森林限界の手前」と答えたのですか。

.....

問3

コラムの筆者が、藤井棋士から求道者のような姿勢を感じたのはなぜですか。

.....

問4

コラムの最後に「そう考えると」とありますが、「そう」が指す内容を抜き書きしてください。

.....

.....